

質問に対する回答について  
工事名) 東北自動車道 和賀川橋床版取替工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回答
1	特記仕様書 和賀川橋、衣川橋とも下部工は河川敷内に位置しているものと思いますが、特記仕様書などには下部工補修の施工時期についての記載がありません。下部工補修の施工時期（渴水期施工の要否）、下部工補修用足場の出水期における存置の可否、渴水期施工に制限のある場合の渴水期期間についてご教示ください。	河川敷内の下部工補修については、渴水期の施工を想定しており、出水期における足場の存置はできません。渴水期期間は11月～5月となります。なお、実際の施工にあたっては関係機関との協議が必要となります。
2	設計図面（付帯工）47/62 検査路 和賀川橋上部工検査路において、図面では上下線の各主桁間で合計6条の検査路が書かれ数量計上されていますが、実際の現場では上下線とも2条ずつの合計4条しか設置されていません。図面間違との解釈でよろしいでしょうか。	和賀川橋の検査路は上下線で合計4条となります。上記に関しましては、後日訂正公告いたします。
3	設計図面（付帯工）45/62 検査路 検査路図面の数量表について、鋼材重量が1000倍程度となっている箇所が見受けられます。数量間違との解釈でよろしいでしょうか。	検査路図面の数量表に記載している鋼材質量に誤りがありましたので、後日訂正公告いたします。
4	割掛対照表 超速硬コンクリートB 場所打ち床版は超速硬コンクリートBでの計上と思われますが、割掛項目における非破壊検査試験費がこの項目に割掛されていません（割掛対照表参考内訳書の数量内訳には場所打ち床版部の測定数量の記載あり）。何か理由があるのでしょうか。	代表の単価項目を割掛先としております。なお、割掛対照表参考内訳書のとおり、非破壊検査試験費に場所打ち床版部の費用も含まれます。
5	設計図面（和賀川橋（上り線））51/126 設計図面（和賀川橋（下り線））34/103 伸縮装置 和賀川橋の床版取替時において、P6橋脚上の片側は取替え済み、片側は旧床版のままという時期が生じます（R8夏、R9夏の2回）。この時の伸縮装置はどのような構造を想定しているのでしょうか。	伸縮装置の構造については詳細設計で検討を行いますので、設計図書のとおり伸縮装置取替に関する施工は1回分を計上してください。

6	<p>金抜設計書 番号 148 安全衛生保護具 B 特記仕様書において衣川橋上下線で各 6 個の記載があり、計 12 個で金抜設計書に計上がございますが、4 個／日の 10 日使用のため、上下線各 240 個の計 480 個になるかと思われます。間違いとの解釈でよろしいでしょうか。</p>	<p>特記仕様書 26-38-2 「種別」の記載に誤りがありましたので、後日訂正公告いたします。</p>
---	---	--